

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績		—	—	—	—				
		目標値		—	—	—	—	—	—		
	定性的評価	達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	kℓ		1922	1857	1729				
	し尿収集量										
		当初見込			2100	2100	1800	1800	1800		
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	非水洗化便所を使用する世帯を対象に、定期的なし尿収集の実施、住民や事業所等の依頼に基づく随時収集(非水洗化便所・仮設便所)の対応、収集業者との契約による安定的なし尿収集・運搬体制の確保、くみ取り料金の適正な徴収及び未収対策の強化、非水洗化便所の維持管理に関する住民への啓発・周知活動の実施										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び本市の一般廃棄物処理計画に基づき、適切に処理を実施し、市民の衛生的な生活環境を確保した。 ・令和6年度から、し尿収集運搬業務委託料の設計内容を再構築するとともに、第三次合理化事業計画終了後の代替業務の取り扱いに関するガイドラインについて、収集運搬業者と協議を重ね、現況に応じた代替業務や契約方法を整理・明確化した。 ・今後も安定した衛生環境を維持するため、し尿収集運搬業務を継続する必要がある。【定性的評価】	
現状の課題 に対する 改善策	・今後も、法及び処理計画に基づき、持続可能なし尿処理体制を維持し、衛生的な市民生活の確保を図る。 ・令和7年度以降、し尿収集運搬契約を単年度契約から長期継続契約に移行し、事務の効率化や業者の安定経営等を図る。	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	環境衛生対策事業										事業コード	040103520130		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成							施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘					
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	03 環境衛生費		会計	01 一般会計	決算附属資料	144	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物処理及び清掃に関する法律第5条第6項													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	－													

背景(現状)
(3行程度以内)

※事業を実施する背景や事業における現状

事業目的
(5行程度以内)

※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ
○公衆便所については、都市公園等による代替機能の有無を確認し、適切な配置を再検討する必要がある。

实施概要
(5行程度以内)

※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入)

○害虫駆除支援、公衆便所の適正配置及び維持管理により住環境の保全を図ることを目的とする。

対象者

※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること

实施方法

全市民	対象者数	74,800	単位あたりコスト	0.0
-----	------	--------	----------	-----

委託先・実施主体等

(社)福知山市シルバー人材センター、個人

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	177	野家公衆便所修繕			
	役務費	6	全国市有物件災害共済会建物総合損害共済			
	委託料	462	野家公衆便所、岡ノ二公衆便所、内記6丁目公衆便所清掃委託料			

① 当初予算	
--------	--

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	363		676		658		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		363		676		658		0	
予算財源内訳	① 一般財源	363		676		658		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	363		676					
	③ 執行額	59		645					
	④ 執行率	16.3%		95.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	/	
	② 概算人件費	1,680		1,680					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,739		2,325					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	着	38	43	24			
		目標値		50	50	50	50	50	
	蜂駆除防護服の貸出し	達成度		%	76%	86%	48%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	着	38	46	24			
		当初見込		50	50	50	50	50	
	蜂駆除防護服の貸出し								
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民を対象に蜂駆除防護服の貸出を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	3	3	3			
		目標値		3	3	3	3	3	
	公衆便所の維持	達成度		%	100%	100%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	605	605	605			
		当初見込		605	605	605	605	605	
	公衆便所清掃								
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公衆便所における定期定期的な清掃及び不具合のチェックを行うことで、衛生的な維持管理を図る。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	○蜂による被害の事前防止に資することができた。 ○公衆便所の清掃維持に努め、市民その他の利用者に対して、公衆便所の利用に供することができた。一方、地元自治会等から路上駐車の利用者に係る苦情もある。 ○引き続き市民等に対して、公衆便所の利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。								
現状の課題 に対する 改善策	○公衆便所については、都市公園等による代替機能の有無を確認し、適切な配置を再検討する必要がある。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業										事業コード	040201202341			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード		222			
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課							所属長	田和 昌弘					
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	152	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	第五次循環型社会形成推進計画 一般廃棄物処理基本計画 福知山市埋立処分基金化実施計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針 廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○ごみ処理施設の効率的な運営など持続可能なごみ処理体制の構築 ○プラスチック使用製品ごみの再商品化等ごみの資源化量の拡大、最終処分量の縮減 ○循環型社会の担い手を育成										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○循環型社会形成推進計画に示された循環型社会の将来像を実現することを目的とする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○福知山市一般廃棄物処理基本計画の見直し ○持続可能なごみ処理施設のあり方検討 ○プラスチック使用製品ごみの再商品化モデルの検証										
対象者	市民及び事業者					対象者数	75,141		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,633		17,832		24,359		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		5,633		17,832		24,359		0						
予算財源内訳	① 一般財源	633		0		847		0						
	② 国支出金	0		0		2,992		0						
	③ 府支出金	0		8,916		10,260		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	5,000		8,916		10,260		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 166										
	② 配当予算	5,633		17,666										
	③ 執行額	5,617		17,611										
	④ 執行率	99.7%		99.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.45	/	0.05	1.78	/	0.00	/						
	② 概算人件費	11,740		14,240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,357		31,851										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業(きょうと地域連携推進交付金)		種類	衛生費補助金		実績金額	7,543		決算附属資料	25		頁
			ごみの減量ふくちやまモデル推進事業基金繰入金(ふるさと納税基金繰入金)			基金繰入金			7,568			40		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	t		27113	24459	23547			
			目標値			29740	29400	29220	27231	26938	
	廃棄物搬入量		達成度		%	91%	83%	81%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		3	3	3			
	環境審議会開催回数		当初見込			3	3	3	3	3	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ○一般廃棄物処理基本計画中間見直しの実施。 ○プラスチック使用製品ごみ再商品化計画の検討。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	○市民・事業者の協力により一般廃棄物処理基本計画に規定された施策を着実に推進し、ごみの減量・資源化目標は概ね達成できた。 ○ごみの資源化量を拡大し、最終処分量を減量させるため、効果的な啓発に努めるとともに新たな資源化手法の検討・実施を図る必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	○廃棄物処理基本計画等関連計画の進捗管理。 ○プラスチック使用製品ごみ再商品化計画の検討、試行的実施。 ○一般廃棄物処理施設のあり方検討の着実な推進。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	清掃管理一般事業							事業コード	040201540119			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり			
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成							施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘			
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	152	頁
計画期間	開始年度	昭と50年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	－											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
関連事業	－											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○本市の廃棄物処理施設として、福知山市環境パークの運営を行っている。 ○そのため、環境パークの運営に関する一般行政事務を行う。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○環境パークの運営に関する一般行政事務を効率的かつ円滑に行う必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 ○一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○環境施策に関する調査回答、連絡調整などの生活環境課における全般的な事務の実施。 ○全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費、公用車の管理などの課全般にわたる事務的経費を計上している。					
対象者	全市民		対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	81	市町村等廃棄物関係担当課長会議(京都府開催)等			
	需用費	594	消耗品費(用度物品PPC用紙ほか)、印刷製本費			
	役務費	1,142	通信・電話料等、郵送料、保険料			
	使用料及び賃借料	1,024	デジタル複合機賃貸借料(使用料)			
	負担金補助及び交付金	106	全国都市清掃会議年会費			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,155	2,781	5,642	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		3,155	2,781	5,642	0
予算財源内訳	① 一般財源	2,486	2,112	4,894	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	669	669	748	0
決算情報	① 流充用額	0	166		
	② 配当予算	3,155	2,947		
	③ 執行額	2,809	2,946		
	④ 執行率	89.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	3.74 / 0.93	3.57 / 0.91	/	/
	② 概算人件費	32,524	31,108		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,333	34,054		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	自動販売機設置貸与収入(生活環境課)	種類	財産貸付収入	実績金額	511	決算附属資料	32	頁
		環境パーク広告収入		雑入		231		42	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	20	20	19			
	公用車両管理台数			20	20	19	18	16	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	環境パークの施設維持に必要な共通諸経費の管理を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	○一般廃棄物処理に要する作業車両等の老朽化により、維持管理経費は増加傾向にある。	
現状の課題 に対する 改善策	○車両等については、更新計画を立て、必要なものから順に更新する。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	不法投棄対策事業						事業コード	040202540108			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222			
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	田和 昌弘				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	153	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	－										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○本市域における不法投棄が後を絶たず、地域環境の悪化が懸念されることから、継続的な不法投棄防止の取組が必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○不法投棄ごみの回収と再発の繰り返しであり、自治会等と連携して不法投棄をさせない環境づくりを含めた啓発が必要					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○不法投棄が多い重点監視地域を中心に巡回/パトロールを実施し、早期発見・早期対応(回収)を行い、不法投棄防止を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること ○不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回/パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。 ○不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察等と連携して注意、指導を行う。					
対象者	全市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター、(社福)しあわせネットワーク					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	49	不法投棄防止用看板			
	委託料	4,082	不法投棄重点監視地点巡回/パトロール			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,127		4,166		4,893		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
小計(①～③)		4,127		4,166		4,893		0			
予算財源内訳	① 一般財源	2,064		2,083		2,447		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	2,063		2,083		2,446		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	86		0							
	② 配当予算	4,213		4,166							
	③ 執行額	4,213		4,131							
	④ 執行率	100.0%		99.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.24	/	0.00	0.13	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,920		1,040							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,133		5,171							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	不法投棄対策事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		実績金額	2,057	決算附属資料	24	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	t	5	4	3			
		目標値		0	0	0	0	0	
	不法投棄ごみ回収量	達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	217	218	214			
		当初見込		218	218	218	218	218	
	不法投棄パトロール回数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	不法投棄が多い重点監視地域を中心に巡回パトロールを実施。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	○定期的なパトロールを行っているが、市所管外地での不法投棄も目立っている。 ○自治会の取組を支援するとともに、市民全体への啓発強化が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	○回収と再発の繰り返しであり、警察や京都府と連携を取り、継続して不法投棄がある地域のパトロール活動を強化していく必要がある。 ○広報等による啓発、不法投棄防止用立看板の設置等、継続して対策に取り組む。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	資源ごみ集団回収報奨事業										事業コード	040202540113				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222					
事業担当	所 属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	153		頁
計画期間	開始年度	平成3年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画					R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進するため、市民が主体となった取組を支援していく必要がある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○取組実施団体が減少している。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○ごみの減量・資源化を図るとともに、ごみ問題に対する意識の向上を図ることを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○資源ごみ集団回収を実施する団体へ対し報奨金を支出					
対象者	全市民		対象者数	75,343	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,799		3,892		3,370		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		3,799		3,892		3,370		0				
予算財源内訳	① 一般財源	2,014		1,946		1,685		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	1,785		1,946		1,685		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	3,799		3,892								
	③ 執行額	3,370		2,902								
	④ 執行率	88.7%		74.6%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.18	/	0.25	0.08	/	0.00			/		
	② 概算人件費	2,140		640								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,510		3,542								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	資源ごみ集団回収報奨事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		実績金額	1,419	決算附属資料	24	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	t		1297	1123	967			
	資源ごみ集団回収量		目標値			1696	1683	1677	1645	1632	
			達成度	%		76%	67%	58%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	組織		77	75	74			
	資源ごみ集団回収登録団体数		当初見込			100	100	100	100	100	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
		資源ごみ集団回収取組組織を拡大し、資源ごみ回収量を増加させるため、報奨金を支出する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ○学校の統廃合や、地域の高齢化等の要因により、、活動団体数・報奨金額が減少傾向にある。								
現状の課題 に対する 改善策	○広報や自治会回覧により、継続した活動や新たな登録を呼びかける。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	3R(スリーアール)推進事業										事業コード	040202540131			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	153・154	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第5次循環型社会形成推進基本計画														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○循環型社会の形成を推進するため、市民参画のもとで3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実践するための事業に取り組んでいる。 ○3Rのうち特にリデュース(ごみの減量)に係る啓発を優先的に実施し、市民の行動変容を促す必要がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○リサイクル体験教室への参加者拡大を図る必要がある。 ○効果的なごみの減量・資源化啓発手法を検討・実施する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○循環型社会形成推進基本計画等に表示された循環型社会の将来像(資源循環に配慮した消費行動)の実現を図る必要がある。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○リサイクル体験教室の開催 ○修理再生家具の展示販売によるリペア文化の促進 ○市内小学生を主な対象とした環境学習の実施 ○広報等によるごみの減量・資源化啓発									
対象者	全市民				対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	2,550		2,691		2,575		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0							
小計(①～③)		2,550		2,691		2,575		0							
予算財源内訳	① 一般財源	949		1,048		0		0							
	② 国支出金	0		0		0		0							
	③ 府支出金	1,275		1,345		1,287		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	326		298		1,288		0							
決算情報	① 流充用額	2		0											
	② 配当予算	2,552		2,691											
	③ 執行額	2,551		2,650											
	④ 執行率	100.0%		98.5%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.18	/	138.00	0.15	/	0.00			/					
	② 概算人件費	387,840		1,200											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		390,391		3,850											
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	3R(スリーアール)推進事業(きょうと地域連携交付金)			種類	衛生費府補助金		実績金額	1,319		決算附属資料	24		頁
			リユースショップ				物品売払収入			48			32		
			修理再生家具類				物品売払収入			65			33		
			体験教室参加者材料費				雑入			111			46		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g/人	522.6	510.8	496.6			
	一人1日あたりのごみの排出量	目標値	日	524.6	521.9	519.3	516.7	514.1	
		達成度	%	100%	98%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	501	732	657			
	環境学習(環境パーク施設見学)の開催	当初見込		600	600	600	600	600	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	市内小学生を対象とした環境学習(環境パーク施設見学等)の開催。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g/人	522.6	510.8	496.6			
	一人1日あたりのごみの排出量	目標値	日	524.6	521.9	519.3	516.7	514.1	
		達成度	%	100%	98%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	341	388	365			
	リサイクル体験教室参加者	当初見込		660	660	660	420	420	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)	リサイクル体験教室の企画・開催								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ <u>必要性、効率性、有効性の観点</u> を基に記述すること ○リサイクル体験教室の実施団体は高齢化等のため継続が難しい状況である。 ○生活スタイルの変化から再生可能な家具の搬入が減少している。

現状の課題 に対する 改善策	○リサイクル体験教室の他、新たなごみの減量・資源化啓発の取組を検討する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	ごみ焼却施設修繕事業							事業コード	040202540138					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	154	頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成12年から稼働しているごみ焼却施設の改修等を行う事業であり、平成25年から基幹的設備改修工事を実施し大規模改修を行ったが、その後10年が経過している。 焼却炉を2炉有しており、状況に応じた炉数を稼働させることで市内から排出されるごみを適正に焼却処分するとともに、保全作業を実施して安定稼働を図っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設を延命化させるために設備改修を行っているが、継続的な工事費用が必要である。 将来的な施設のあり方を検討する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 平成12年度から稼働している焼却施設を計画的に改修、整備することで施設の安定的な運用を行い、法令及び公害防止協定を遵守しながら、廃棄物の適正処理を行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 3年毎に施設の精密機能検査を実施しており、施設の現状を把握しつつ長期的な改修計画を立てることで、予算を平準化させながら燃焼設備、排ガス処理施設や焼却灰搬出装置などの改修工事を行う。 施設の運転管理業者と密に連携し、平時より保全業務を行うことで緊急的な修繕対応を未然に防ぐ。 適切な施設整備を行うことで、法令及び公害防止協定を遵守する。									
対象者	全市民				対象者数	75,141		単位あたりコスト	5.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	384,736		373,877		311,826		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		384,736		373,877		311,826		0			
予算財源内訳	① 一般財源	14,636		3,012		2,726		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	351,000		352,300		293,600		0			
	⑤ その他特財	19,100		18,565		15,500		0			
決算情報	① 流充用額	0		128							
	② 配当予算	384,736		374,005							
	③ 執行額	364,410		373,111							
	④ 執行率	94.7%		99.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.69	/	0.00	0.58	/	0.05	/			
	② 概算人件費	5,520		4,780							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		369,930		377,891							
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	ごみ焼却施設修繕事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)		種類	基金繰入金	実績金額	18,570	決算附属資料	38	頁
			ごみ焼却施設修繕事業(旧合併特例債)			衛生債		351,400		51	
				15							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	項目	5	5	5			
	公害防止協定、協定値の遵守(協定値以下)	目標値		5	5	5	5	5	
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績 t		17123	15041	14539			
	ごみ焼却量			15832	15621	15499	16738	16499	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 整備計画を基に改修工事を実施しつつ、日常点検から修繕等が必要な箇所を見極め、必要な改修を継続して行う。 月に1回以上運転管理の委託業者との調整会議の場を設け、施設の稼働状況や運転方針について協議する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績 当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・施設の計画的な改修を行うことにより施設の延命化を図り、市内で発生するごみの安定かつ適正な処理が行なえた。 ・ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ・施設の老朽化が進行する中、事業に係るコストが増大するため、改修計画の見直し等が必要となっている。
現状の課題 に対する 改善策	・廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとともに、更なる効率化と経費の削減を図る。 ・改修対象設備の優先順位を設定し、計画的に改修工事を施工する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	水処理施設運転・維持管理事業										事業コード	040202540142				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成									施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課							所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	154		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・水処理施設は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、最終処分場には必要な施設である。 ・環境パーク、三和町、夜久野町、大江町の最終処分場からの浸出水を、適正に処理し河川に放流するために、それぞれの最終処分場に水処理施設が設置されている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・埋立が終了している夜久野町、大江町の最終処分場に関しては、廃止に向けて調整が必要である。 ・どの水処理施設も、経年により劣化してきているため、今後の維持管理費が増加する可能性がある。 ・三和町の最終処分場に関しては、廃棄物の受入は完了しているが、覆土が未完のため、継続して管理する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・各最終処分場からの浸出水を河川放流するために、放流水質を法令の排出基準及び環境保全協定に定められた排出基準まで浄化処理する。 ・排出基準を遵守するため、計画的な整備を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・適切な施設管理を行うため、水処理施設の運転・維持管理業務を委託した。 ・放流水質の排出基準遵守のため、定期的な活性炭の入替業務の委託や機械・設備部品、薬品等の消耗品を計画的に購入した。 ・水処理施設の適切な施設維持を行うため、除草・剪定業務等を委託した。					
対象者	全市民		対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	42,595		40,224		43,752		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		42,595		40,224		43,752		0						
予算財源内訳	① 一般財源	13,647		17,192		15,613		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	28,948		23,032		28,139		0						
決算情報	① 流充用額	0		598										
	② 配当予算	42,595		40,822										
	③ 執行額	42,084		40,803										
	④ 執行率	98.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.35	/	0.00	0.31	/	0.00			/				
	② 概算人件費	2,800		2,480										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		44,884		43,283										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料			種類	衛生手数料		13,242		実績金額	12		決算附属資料	頁
		水処理施設運転・維持管理事業(きょうと地域連携交付金)				衛生費府補助金		81			25			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】 放流水の法令及び環境保全協定に定められた排出基準の遵守	目標値	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	m3	45197	56803	53030					
	水処理施設からの処理水の放流量		当初見込	84810	84810	84810	84810	84810		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 水処理施設の適正かつ安定した運転のための運転・維持管理業務、除草・剪定業務、浚渫業務、活性炭入替業務等を委託した。 施設整備のための機械・設備部品及び浸出水の浄化処理のための薬品等を購入した。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
			当初見込						
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・水処理施設の計画的な整備を行うとともに、適正かつ安定した稼働と適切な施設管理により、放流水の法令基準及び環境保全協定の排出基準を遵守することができた。 ・水処理施設の老朽化により、今後、維持管理費の増加が考えられる。 ・埋立が終了した最終処分場を廃止することにより、維持管理費を抑えられる。
現状の課題 に対する 改善策	・計画的な整備を行うことにより、施設の延命化を図る必要がある。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	第4期埋立処分場整備事業										事業コード	040202540148				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222					
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	154		頁
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和11年度		関連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・既存の埋立処分場の残余容量が徐々に減少している。 ・平成30年度より第1期・第2期埋立処分場の嵩上げ整備を順次行うことで、埋立容量の確保を図っている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・現在の場所での新たな埋立処分場の整備計画は、最後となる。 ・今後の埋立処分場については、新たに整備計画の検討が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・将来にわたって廃棄物の適正処理が可能な処理能力を確保するため、第1期・第2期埋立処分場隣接に第4期埋立処分場の整備を行い、更なる埋立容量を確保する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・埋立処分場造成工事を実施した。(土工、法面工、擁壁工、排水構造物工、遮水設備工、構造物撤去工、溪流保全工)										
対象者	全市民					対象者数	75,141		単位あたりコスト	8.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	451,968		444,648		68,385		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	△ 283,363		283,363		0		0						
	前年度繰越	0		283,363		0		0						
	次年度繰越	△ 283,363		0		0		0						
小計(①～③)		168,605		728,011		68,385		0						
予算財源内訳	① 一般財源	22,572		79,311		385		0						
	② 国支出金	32,833		122,000		17,700		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	113,200		461,200		50,300		0						
	⑤ その他特財	0		65,500		0		0						
決算情報	① 流充用額	5,061		0										
	② 配当予算	173,666		728,011										
	③ 執行額	173,666		631,208										
	④ 執行率	100.0%		86.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.39	/	0.00	0.31	/	0.00	/						
	② 概算人件費	3,120		2,480										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		176,786		633,688										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	第4期埋立処分場整備事業(循環型社会形成推進交付金)		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	138,666		決算附属資料	17		頁
			第4期埋立処分場整備事業(一般廃棄物処理)(補助)			衛生債			249,600			51		
			第4期埋立処分場整備事業(一般廃棄物処理)(単独)			衛生債			10,100			51		
			【通次繰越】第4期埋立処分場整備事業(一般廃棄物処理)(補助)			衛生債			117,900			51		
			【通次繰越】第4期埋立処分場整備事業(一般廃棄物処理)(単独)			衛生債			3,500			51		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	【定性的】 第4期埋立処分場の整備を行い、埋立容量を確保する。	目標値	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	100	100	100					
	単年度あたりの事業進捗率		当初見込	100	100	100	100	100		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・埋立処分場造成工事を実施した。(土工、法面工、擁壁工、排水構造物工、遮水設備工、構造物撤去工、溪流保全工)								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
			当初見込						
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・今後、水処理施設の建設工事(3カ年継続費)による工事を予定している。 ・計画している全体事業費に対して、人件費、物価高騰による事業費の増加が予想される。	
現状の課題 に対する 改善策	・随時、事業の全体計画を確認し、進捗の把握に努める。 ・浸出水処理施設の建設については、廃棄物の処理量等を考慮し、適正規模の施設整備に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	環境パーク運転・維持管理事業										事業コード	040202540154			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	154・155	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・市民の生活から日常的に排出される廃棄物を適切に処理するため、環境パークの適正かつ安定的な運営を行う。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・環境パークの継続的な維持管理を行うために、限られた予算の中で効果的、効率的な事業を実施する。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・環境パークの施設の安定的な運営に努め市民生活の安全安心を確保する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・環境パーク運転・維持管理のための燃料・電力・消耗品等の調達及び業務委託等 ・環境パーク廃棄物処理施設の排水・廃ガス等測定分析 【主な利用特財その他分】 市庁内ごみ手数料 衛生手数料 4,641 12頁 / 市庁外ごみ手数料 衛生手数料 4,094 12頁 一般廃棄物処理業許可申請手数料 衛生手数料 107 12頁 / 環境パーク洗車場上下水道料等 雑入 130 43頁 自動販売機等電気代等(リサイクルプラザ) 雑入 79 44頁									
対象者	全市民				対象者数	75,141		単位あたりコスト	3.6	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	263,045		242,935		209,547		0						
	② 補正予算	△ 15,000		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		248,045		242,935		209,547		0						
予算財源内訳	① 一般財源	67,486		76,017		71,371		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	2,178		1,859		1,859		0						
	④ 地方債	0		0		9,000		0						
	⑤ その他特財	178,381		165,059		127,317		0						
決算情報	① 流充用額	△ 16,538		△ 1,703										
	② 配当予算	231,507		241,232										
	③ 執行額	229,098		235,875										
	④ 執行率	99.0%		97.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	1.57	/	3.78	2.43	/	4.27	/						
	② 概算人件費	23,144		31,396										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		252,242		267,271										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	環境パーク使用料		種類	衛生使用料		実績金額	950		決算附属資料	8		頁
			電柱占用料			衛生使用料			72			8		
			一般廃棄物手数料			衛生手数料			17,044			12		
			産業廃棄物手数料			衛生手数料			52,458			12		
			下水道(灰・しさ)処理手数料			衛生手数料			33,465			12		
			環境パーク運転・維持管理事業(きょうと地域連携交付金)			衛生費府補助金			1,969			24		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	項目	89	89	89				
	公害防止協定における協定値の遵守(測定項目数)	目標値		89	89	89	89	89		
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	21781	19752	19089				
	廃棄物処理量(中間処理施設処理量)			当初見込	20559	20300	20146	24417	24153	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)	市民生活から日常的に排出される廃棄物の適正処理を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
				当初見込						
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・施設の適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する廃棄物の安定かつ適正な処理を行った。 ・適正な運転・維持管理により、廃棄物処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制並びに除去を行い、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。
現状の課題 に対する 改善策	・廃棄物の安定かつ適正な処理を行なうとともに、施設の運転管理に係る手法を研究し、更なる効率化と経費の削減を図る。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	リサイクルプラザ修繕事業										事業コード	040202540155				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり								
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222					
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課					所属長	田和 昌弘								
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	155		頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容リ法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 リサイクルプラザは市内から排出される一般廃棄物のうち、不燃・粗大ごみ、缶類、容器包装プラスチック、ペットボトルを処理・処分、再資源化するために必要不可欠な施設である。 平成15年度より稼働している施設であり、各所に経年劣化がみられることから計画的な修繕・改修が必要である。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 整備補修計画に沿った工事の施工。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・市民の生活から日常的に排出される廃棄物の再資源化を行なうため、リサイクルプラザの適正かつ安定的な運用を行う。 ・経年劣化に伴う性能低下が著しいリサイクルプラザの各機械及び電気設備を計画的に整備することで、リサイクルを適正に行っていく。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 計画的な施設の運転・維持管理を実施するため令和7年度から令和16年度までの整備補修計画を作成。 施設の定期点検等を実施し施設の現状把握、それに伴う修繕等を早期に実施。 施設の運転・維持管理業者と密に連携を図り、早期工事を実施。 施設の安全な運転・維持管理に必要な物品購入等を計画的に実施。				
対象者	全市民	対象者数	74,275	単位あたりコスト	1.9
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	131,933		136,746		139,817		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		131,933		136,746		139,817		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	6,533		6,726		2,917		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	119,100		123,500		130,000		0						
	⑤ その他特財	6,300		6,520		6,900		0						
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 440										
	② 配当予算	131,933		136,306										
	③ 執行額	128,708		133,271										
	④ 執行率	97.6%		97.8%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.04	/	0.70	0.76	/	0.50	/						
	② 概算人件費	2,280		7,480										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		130,988		140,751										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	リサイクルプラザ修繕事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)		種類	基金繰入金		6,482		実績金額	38		決算附属資料	頁
			リサイクルプラザ修繕事業(旧合併特例)			衛生債		121,600			51			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	項目	9	9	9			
			目標値		9	9	9	9	9	
	搬入廃棄物の分別処理(完全処理)		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	t	3854	3898	3605			
	リサイクルプラザ処理量		当初見込		3926	3886	3860	6908	6894	
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 リサイクルプラザの整備補修計画に沿った改修工事の実施。 設備の定期点検および日々の点検作業の実施。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	施設の計画的な工事・修繕を行うことにより、市内で発生する一般廃棄物(不燃・粗大ごみ、缶類、容器包装プラスチック、ペットボトル)の安定かつ適正な分別処理が行えた。 リサイクルプラザの整備補修計画に基づく施設の延命化を図ることができた。 本施設は稼働から21年が経過しており、今後施設の老朽化が進む中、経年劣化に伴う、突発的な設備の故障等が発生する恐れがあり、修繕・工事箇所が増加していくことが見込まれる。	
現状の課題 に対する 改善策	整備計画に基づき、効率的な改修工事を実施する。 日々の点検を継続的にを行い劣化箇所の早期発見、早期対応に努める。 突発的な設備の故障を予防保全するため、耐用年数を考慮した計画的な部品の交換等を実施する。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	指定ごみ袋作製事業						事業コード	040202540165			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222			
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	田和 昌弘				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	155	頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R7現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	ごみ収集運搬事業										

|| 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○本市では、家庭ごみの適正な処理とごみ排出量の抑制、リサイクルの推進のため、有料指定ごみ袋を導入している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○指定ごみ袋原材料費の高騰が続いている。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○市民から排出される家庭系廃棄物(燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ、粗大ごみ)の分別収集を行うことによる衛生的で快適な生活環境の確保を図ることを目的とする。 ○分別収集によるごみの資源化量の拡大と資源化率の改善、ごみの減容化による最終処分量の縮減と最終処分率の改善を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 指定ごみ袋の作製、市内取扱店舗での販売。 可燃ごみ袋は、石油資源の節約と温室効果ガス排出削減を目的にバイオマスポリエチレンを25%以上使用している。 ※令和7年度より「ごみ収集運搬事業」へ統合。					
対象者	全市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	29,511	福知山市家庭ごみ袋作製・地域美化作業専用ごみ袋作製			
	役務費	23,551	指定ごみ袋処理手数料			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	61,306		60,080		0		0						
	② 補正予算	△ 8,959		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		52,347		60,080		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	52,347		60,080		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 5,291										
	② 配当予算	52,347		54,789										
	③ 執行額	49,793		53,062										
	④ 執行率	95.1%		96.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.18	/	1.50	/						
	② 概算人件費	0		5,640										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		49,793		58,702										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	指定ごみ袋処理手数料		種類	衛生手数料		実績金額	52,983		決算附属資料	12		頁
			指定ごみ袋広告収入			雑入			78			42		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	g/人	522.6	510.8	496.6			
	一人1日あたりのごみの排出量	目標値	日	524.6	521.9	519.3	516.7	514.1	
		達成度	%	100%	98%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	枚	4451000	3690000	4351500			
	指定ごみ袋作製枚数	当初見込		4451000	3690000	3586000	4670000	4670000	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	有料指定ごみ袋により適正なごみ処理手数料を徴収する。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ○家庭ごみの排出抑制と再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化が図られている。 ○ごみの分別による適正なごみ処理の実施により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることができている。 ○指定ごみ袋の製造先が海外となり、世界情勢による原材料の不足や価格高騰が生じやすい。

現状の課題 に対する 改善策	○早期の契約締結・発注により安定的にごみ袋作製枚数を確保する。 ※令和7年度より「ごみ収集運搬事業」へ統合。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	ごみ収集運搬事業										事業コード	040202540171			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	155	頁
計画期間	開始年度	昭和57年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第5次循環型社会形成推進基本計画														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○ステーションへのごみ出しが困難な世帯に対する支援策を検討・実施する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○市民から排出される家庭系廃棄物(燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ、粗大ごみ)の分別収集を行うことによる衛生的で快適な生活環境の確保を図る。 ○分別収集によるごみの資源化量の拡大と資源化率の改善、ごみの減容化による最終処分量の縮減と最終処分率の改善を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○有料指定ごみ袋による家庭ごみのステーション収集を実施 ※令和7年度より「指定ごみ袋作製事業」を統合。									
対象者	全市民				対象者数	75,471		単位あたりコスト	6.7	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500,939		503,821		569,494		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		500,939		503,821		569,494		0						
予算財源内訳	① 一般財源	332,201		343,469		440,416		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	168,738		160,352		129,078		0						
決算情報	① 流充用額	0		171										
	② 配当予算	500,939		503,992										
	③ 執行額	500,936		503,992										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.37	/	0.22	0.28	/	0.00	/						
	② 概算人件費	3,576		2,240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		504,512		506,232										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	一般廃棄物手数料		種類	衛生手数料		実績金額	87,398		決算附属資料	12		頁
			指定ごみ袋処理手数料			衛生手数料			74,663			12		
			粗大ごみ収集手数料			衛生手数料			3,009			12		
				27										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t	13007	12469	12014			
		目標値		13023	12895	12805	12539	12398	
	家庭ごみ収集(ステーション収集)量		達成度	%	100%	97%	94%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	2381	2400	2403			
	家庭ごみ収集(ステーション収集)回数	当初見込		2360	2381	2400	2405	2405	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
一般廃棄物処理基本計画に基づく家庭ごみのステーション収集を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 生活様式の多様化により、家庭ごみの分別区分の判断が難しいケースがある。 高齢化等により、ステーションへのごみ出しが困難な世帯が増加している。								
現状の課題 に対する 改善策	市ホームページや専用アプリの活用により、ごみ分別区分の周知を行う。 高齢者等ごみ出し困難世帯への支援策の検討を行う。								
	※令和7年度より「指定ごみ袋作製事業」を統合。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	廃棄物処理施設等運転管理委託事業										事業コード	040202540172				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード		222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	155		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民から搬出される廃棄物を適正に処理するため、廃棄物処理施設を安定的に運用する。 施設運転業務における日々の点検により、早期に故障箇所を突き止め、計画的に整備を行うことで延命化を図っている。 廃棄物の処理にかかる各種根拠法令及び地元との公害防止協定の数値を遵守している。						
	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人件費及び材料費の高騰により年々契約額が上昇している。 稼働から25年経過しており、定期点検の実施時に経年劣化による補修が必要な箇所が散見される。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・環境パーク内の施設の適切な運転管理により、廃棄物の適正処理を行う。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 施設の運転計画を作成し、焼却炉の稼働調整により適正に廃棄物を処分している。 各施設の適正な運転操作により、有害物質を抑制し、法令や公害防止協定の値を遵守している。 設備の定期点検を実施することで、設備の故障を未然に防ぎ、受け入れた廃棄物を適正に処理している。						
対象者	全市民			対象者数	75,141	単位あたりコスト	2.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	168,129		168,129		193,644		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		168,129		168,129		193,644		0					
予算財源内訳	① 一般財源	36,258		52,018		49,866		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	131,871		116,111		143,778		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	168,129		168,129									
	③ 執行額	168,128		168,128									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.12	/	0.00	/					
	② 概算人件費	160		960									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		168,288		169,088									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料		種類	衛生手数料		実績金額	49,659		決算附属資料	12		頁
		下水道(灰・しさ)処理手数料			衛生手数料			14,340			12		
		市庁内ごみ手数料			衛生手数料			8,620			12		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	自治会		30	30	30			
			目標値			30	30	30	30	30	
	公害防止協定(水質検査結果報告)		達成度		%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	t	27113	24459	23547				
	廃棄物搬入量		当初見込		29740	29400	29220	27231	26938		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 有資格者による施設の運転及び維持管理を行うことにより、適正な施設運営及び廃棄物処理を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・適切な施設の維持管理を行うことにより、市内で発生する廃棄物の安定かつ適正な処理が行なえた。 ・廃棄物処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ・老朽化が進む施設の予防保全に向けた運転管理が必要となる。
現状の課題 に対する 改善策	
	・廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、更なる効率化と経費の削減を図る。 ・過去の運転データを基に効率的な運転手法を検討する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	リサイクル関連事業										事業コード	040202540194			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	155・156	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律 第5次循環型社会形成推進基本計画														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○プラスチック使用製品ごみの再商品化など資源化(リサイクル)の高度化を図る必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○ごみの資源化量の拡大と資源化率の改善、ごみの減容化による最終処分量の縮減と最終処分率の改善を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○市内で排出されたごみの減容化・資源化を行う。										
対象者	全市民					対象者数	76,037		単位あたりコスト	1.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)			R6(評価年度)			R7(本年度)			R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	94,847			92,511			138,479			0			
	② 補正予算	0			0			0			0			
	③ 繰越予算	0			0			0			0			
	前年度繰越	0			0			0			0			
	次年度繰越	0			0			0			0			
小計(①～③)		94,847			92,511			138,479			0			
予算財源内訳	① 一般財源	38,874			29,518			0			0			
	② 国支出金	0			0			0			0			
	③ 府支出金	0			0			0			0			
	④ 地方債	0			0			0			0			
	⑤ その他特財	55,973			62,993			138,479			0			
決算情報	① 流充用額	91			6,537									
	② 配当予算	94,938			99,048									
	③ 執行額	94,714			98,686									
	④ 執行率	99.8%			99.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.41	/	0.06	0.59	/	0.02	/			/			
	② 概算人件費	3,448			4,776									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		98,162			103,462									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	一般廃棄物手数料		種類	衛生手数料		実績金額	15,490		決算附属資料	12		頁
			空き缶			物品売払収入			20,053			32		
			空きビン			物品売払収入			102			32		
			金属くず(生活環境課)			物品売払収入			6,473			33		
			発泡スチロール			物品売払収入			1,559			33		
			紙パックほか			物品売払収入			15,470			33		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t/年	8146	7149	7237			
	最終処分量	目標値		9718	9601	9547	7970	7889	
			達成度	%	84%	74%	76%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	2189	2174	1821			
	資源化量(一般廃棄物及び産業廃棄物、中間処理による資源化)	当初見込		1722	1708	1695	2034	2053	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
再分別・減容・固形化により、家庭ごみを資源化し、最終処分量を縮減する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ○一般廃棄物処理基本計画で示している資源化率の目標に対してはわずかに未達であった。同目標を達成するためには、引き続き、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、同計画に基づく資源化施策を着実に推進していく必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	○市民・事業者へのごみの減量・資源化に係る啓発を継続して実施する。 ○プラスチック資源循環促進法に基づくプラスチック使用製品廃棄物ごみの再商品化を実施する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	災害等廃棄物処理事業										事業コード	040202540196				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222					
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課						所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	156		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R7現在の状況	廃止/休止			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○自然災害が発生した際は、一度に大量の廃棄物(ごみ)が発生することから、その処理には多くの時間と費用を要する。 ○早期復旧・復興に資するため、迅速な対応が求められる。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○災害廃棄物(ごみ)処理計画の実効性を向上するための処理体制の整備、関係機関等との連携を図る必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ○災害により発生するごみを迅速かつ適切に処理することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図り、被災地域の早期復旧・復興を図ることを目的とする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○災害ごみの迅速な回収(拠点回収又は収集) ○災害ごみの適正処分 ○損壊家屋の撤去										
対象者	全市民					対象者数	75,141		単位あたりコスト	1.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0								
	② 補正予算	377,775		0		0		0								
	③ 繰越予算	△ 348,191		348,191		0		0								
	前年度繰越	0		348,191		0		0								
	次年度繰越	△ 348,191		0		0		0								
小計(①～③)		29,584		348,191		0		0								
予算財源内訳	① 一般財源	14,793		174,095		0		0								
	② 国支出金	14,791		174,096		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0												
	② 配当予算	29,584		348,191												
	③ 執行額	29,584		89,802												
	④ 執行率	100.0%		25.8%												
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.14	/	0.02	0.68	/	0.00			/						
	② 概算人件費	9,176		5,440												
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		38,760		95,242												
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	災害等廃棄物処理事業費補助金(繰越明許費分)			種類	衛生費国庫補助金		42,054		実績金額	17		決算附属資料	17	頁
			災害等廃棄物処理事業費補助金(過年度)				衛生費国庫補助金		10,927							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	100	100	100			
		目標値		100	100	100	0	0	
	災害廃棄物の処理率(処理量/排出量)※R5からR6繰越		達成度	%	100%	100%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	1	8	8			
	災害等廃棄物処理事業実施箇所※R5からR6繰越	当初見込		1	8	8	0	0	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	災害廃棄物を迅速に処理(収集運搬及び処分)する。 損壊家屋を撤去する。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	○通常に処理する家庭ごみと性状の異なる災害廃棄物については、専門的な知識と設備を要し、併せて迅速な回収を必要とする。 ○災害ごみの分別や収集方法について理解を得るため、平常時から市民啓発を行うことが重要である。 ○令和5年台風第7号災害においては、土砂災害に起因して災害廃棄物が発生したことから、廃棄物が土砂に埋まり、予算計上時点での精緻な廃棄物量の試算が困難であった。実際に廃棄物処理を行う中で、廃棄物量が当初の見込よりも少なく、処理経費が抑えられたため、予算に対する執行率が50%未満となった。
現状の課題 に対する 改善策	○令和7年度以降、自然災害に起因する災害廃棄物が発生した際には、近隣ごみ処理事業者との連携により迅速な災害廃棄物の収集・運搬・適正処分を行う。 ○災害等対応マニュアルは引き続き必要に応じて見直しを図るとともに、自然災害発生に備え職員研修を継続して実施する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業										事業コード	070102540601			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所属	250500 産業部産業課							所属長	大江 秀也					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174・175	頁
計画期間	開始年度	平成11年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 旧福知山鉱山は17世紀ごろ主に銀を対象として採掘が行われていたが、1969年(昭和44年)に放棄され、以降義務者不存在となっている。その後旧大江町が休廃止鉱山鉱害防止事業として、平成12年に旧福知山鉱山鉱害防止施設(現:福知山鉱山坑廃水処理場)を建設し、現在は原課において旧福知山鉱山坑道(第3坑口)から排出される坑廃水(強酸性)の処理を委託業者へ発注し、在田川の水質管理を目的として施設維持管理業務を行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・半永久的に排出される坑廃水の処理(坑廃水処理施設の維持管理には施設修繕費及び消耗資材の購入に年間約20,000千円以上の費用がかかっている。)									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 旧福知山鉱山の坑道から排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を適正に処理し、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地元市民の生活安全の維持を目的として、旧福知山鉱山坑道から排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を導水管により坑廃水処理場へ流し、薬剤などで中和処理し、処理後の水を河川へ放流する。 ・処理後の汚泥は脱水し産業廃棄物として適切に埋立処理を行う。 ・年間365日稼働									
対象者	大江町の市民				対象者数	3,790		単位あたりコスト	8.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	23,742		21,675		33,736		0					
	② 補正予算	18,000		4,000		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		41,742		25,675		33,736		0					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	21,059		3,677		4,246		0					
	② 国支出金	17,725		18,852		25,274		0					
	③ 府支出金	2,954		3,142		4,212		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	4		4		4		0					
決 算 情 報	① 流充用額	△ 181		383									
	② 配当予算	41,561		26,058									
	③ 執行額	39,831		26,058									
	④ 執行率	95.8%		100.0%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.65	/	0.00	0.65	/	0.00	/					
	② 概算人件費	5,200		5,200									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		45,031		31,258									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	休廃止鉱山鉱害防止事業		種 類	商工費国庫補助金		18,007		決算附属資料	17		頁
			休廃止鉱山鉱害防止事業			商工費府補助金		3,001			26		
			電柱等占用料			商工使用料		4			8		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	日		365	365	365				
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	目標値		365	365	365	365	365			
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%			
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	12	12	12					
	坑廃水の処理水について、放流前に水質検査を実施する。	当初見込		12	12	12	12	12			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ○福知山鉱山坑廃水処理場の維持管理事業者等に対し、適正な坑廃水処理を行うよう監理・監督する。 ○国、京都府、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構等と連携し、福知山鉱山坑廃水処理を適正に行う。 ○地元住民に対し、適正に坑廃水処理が行えていることを随時お知らせする。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での坑廃水処理を実行している。 ・坑廃水処理を外部委託しているものの、委託業者に指示するにあたり、水質管理や施設修繕等に関する一定の技術的な知識、能力が求められる。専門的な知識を有する技師の参画が必要である。 ・令和5年6月18日に旧福知山鉱山から排出される坑廃水が処理場の処理能力を超えたことにより発生した未処理坑廃水の流出事故を受け、再発防止策の一環として令和6年度にバルブ工事を実施した。今後も地元の意見や維持管理委託業者、鉱山専門機関との協議を行い、再発防止に努めていく。 ・本施設は稼働から20年以上が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施しているが、処理費用は年間約20,000千円以上かかっている。
現状の課題 に対する 改善策	・修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。また、コスト削減や効率化のため本施設に反映できる最先端の処理方法として「バッシブ・トリートメント」が挙げられるため、今後も研究機関と協議する。 ・未処理坑廃水の流出を受け、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)と連携し、今後の対応方針を協議していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	水洗化促進補助事業										事業コード	040201540318				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222					
事業担当	所属	750100 上下水道部上)経営総務課						所属長	松井 美幸							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	153		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市循環型社会形成推進地域計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽修繕費補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 浄化槽整備区域内の水洗化を促進するため、合併処理浄化槽の新規設置や維持管理、緊急的な修繕等を行った者に対して補助金を交付している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 浄化槽整備区域内の未水洗家屋等の水洗化への転換。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 浄化槽整備区域内の水洗化を促進するため、10人槽以下のし尿と雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽(以下「合併処理浄化槽」という。))を設置する者に対し、浄化槽設置整備事業補助金を交付する。 また、浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進するため、合併処理浄化槽を適正に維持管理している者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付するほか、合併処理浄化槽の正常な機能維持を図るため、合併処理浄化槽の本体や部品の修繕等をする者に対し、浄化槽修繕費補助金を交付する。					
対象者	浄化槽整備区域内の居住者等		対象者数	3,457	単位あたりコスト	22.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	66,302		68,844		65,028		0				
	② 補正予算	0		150		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		66,302		68,994		65,028		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	63,874		66,566		62,600		0				
	② 国支出金	1,214		1,214		1,214		0				
	③ 府支出金	1,214		1,214		1,214		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決 算 情 報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	66,302		68,994								
	③ 執行額	63,726		66,204								
	④ 執行率	96.1%		96.0%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	1.00	/	0.00	1.40	/	0.00	/				
	② 概算人件費	8,000		11,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		71,726		77,404								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	合併処理浄化槽設置整備事業		種 類	衛生費国庫補助金		実績金額	954	決算附属資料	17	頁
			合併処理浄化槽設置整備事業			衛生費府補助金			935		24	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	69.2	69.4	69.6			
	浄化槽整備区域の水洗化率		目標値		69.7	70.2	70.7	71.2	71.7	
			達成度	%	99%	99%	98%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	基	4	5	7			
	10人槽以下の合併処理浄化槽の新規設置数		当初見込		5	7	7	9	9	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	合併処理浄化槽を新規に設置する者に対し、浄化槽設置整備事業補助金を交付する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	2446	2399	2326			
	浄化槽整備区域の処理人口		目標値		2500	2494	2488	2482	2476	
			達成度	%	98%	96%	93%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	基	1290	1287	1291			
	適正に維持管理された合併処理浄化槽の基数		当初見込		1298	1298	1297	1296	1310	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	浄化槽整備区域内で合併処理浄化槽を適正に維持管理する者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付する。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	令和6年度の合併処理浄化槽の新規設置基数は、目標の7基に対して実績は7基で達成率は100. 0%であった。 一方、令和6年度の維持管理事業補助金の交付件数は、目標の1, 297件に対して実績は1, 291件で達成率は99. 5%。目標件数には達さなかったが、補助対象の合併処理浄化槽については適正に維持管理されている。 課題としては、浄化槽整備区域は山間部で過疎、高齢化が進んでいることや合併処理浄化槽の必要性や費用負担等が考えられ、改善策の一つとして合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる費用の負担を軽減する補助制度を未設置者に対して周知する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	7年度は、浄化槽整備区域のうち旧市内の区域の合併処理浄化槽未設置者宅に訪問し、水洗化のメリットや合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる費用の負担を軽減する補助制度を周知し、合併処理浄化槽の設置を促す。	